

「献上桃の郷」を全国へPR 町広告付き年賀はがき大好評

町特産の桃がデザインされた広告付き年賀はがきの販売が11月1日から始まりました。発売に先立ち、記念品贈呈式が10月29日、役場で行われました。式では、日本郵便株式会社、太田浩幸福島県北部地区統括局長・岩代郵便局長や高橋町長らが出席し、記念品の贈呈が行われました。

太田局長は、「桑折町の高品質な桃がデザインされた年賀はがきが全国に届けられ、これをきっかけに来町者が増えることを期待する」とあいさつ。広告付き年賀はがきの価格は、通常の年賀はがきより5円安く、1枚80円で販売。町内のほか、近隣8市町村の郵便局で購入できます。



▲記念品を受け取る高橋町長（左）と太田局長（右）

新たなごみ焼却施設の整備に向けて 施設建設基本計画検討委員会

令和14年稼働を目指す新たなごみ焼却施設について、「第1回ごみ焼却施設建設基本計画検討委員会」が10月7日、伊達市地方衛生処理組合で行われました。当日は、組合管理者の須田博行伊達市長から委員への委嘱状交

付と委員会への諮問が行われました。この委員会は、学識経験者や住民代表などから構成され、今後6回にわたり処理方式や処理規模など、施設整備の骨格となる基本計画策定に向けた審議が行われます。



▶須田管理者（右）から諮問を受ける樋口委員長（左）

あなたのひと声が地域を守る 高齢者見守り声かけ訓練

高齢者が認知症などの理由で行方不明や迷ってしまったという想定のもと、搜索や声かけを行う「高齢者見守り声かけ訓練」が10月17日、本町・西町エリアで行われました。訓練には、町民や民生委員、介護事業所職

員、社会福祉協議会職員などが参加。高齢者役が実際に商店や金融機関などを訪れ、声かけや「見守りQRコード」の活用方法について確認しました。地域全体で高齢者を見守る方法を再確認する訓練となりました。



▶コールセンターにつながるQRコードを読み取る参加者